

# ニューズレター 第 12 号

## 大阪学院大学外国語学部

外国語学部は実績主義

—夢を実現した先輩に続いて下さい—

2018 年 3 月 20 日発行

### 大阪学院大学外国語学部では...

豊かな人間性と幅広い教養を兼ね備えた語学のエキスパートとなりうる人材を育成します。本学部で学び、進むべき道を見つけ、夢に向かってこれから社会に羽ばたく先輩の皆さんを紹介します。



### 人生という限られた貴重な時間を 無駄遣いしないために

原 克典さん(2018 年 3 月外国語学部英語学科卒業。在学中交換留学で米国カリフォルニア州立大学モンテレーベイ校に 1 年間留学。その後、香港理工大学のサマースクールに参加。2018 年 4 月株式会社トライバルメディアハウス (TMH) に入社予定。)

皆さん、こんにちは。2018 年 3 月に大阪学院大学外国語学部を卒業する原です。今回、この文章を書くにあたり、今までの『ニューズレター』を読み、尊敬する先輩方と同じように書かせていただける喜びと同時に自分が伝えられることはあるのかと長い期間内容を考えていました。私は、日本語の文章を書くのはとても苦手です。しかし、皆さんがせっかくこの『ニューズレター』を手にしてくれたのであれば、何か一つでも自分のためになることを見つけて欲しいと思っています。そして、私の経験をお話することでその手助けになればと思います。

### — 今しかできないことを全力で —

大阪学院大学での 4 年間は、とにかくやりたいことに挑戦する 4 年間でした。アメリカへ必ず長期留学をする、学生の今しかできないことを全力ですると決めて入学しました。ゼ



ロからのスタートでしたが、LEI という 1 年間英語漬けのプログラムや CET (アメリカからの留学生とのルームシェアプログラム) を利用して、自分にあった英語学習を続けたことで、目標だったアメリカへの長期留学 (カリフォルニア州立大学モンテレーベイ校) を達成することができました。

しかし、留学中に大きな失敗をしてしまいました。後期に留学先でのやりたいこと・目標がなくなってしまったため無駄な時間を多く過ごし



てしまいました。大学入学後は悩むことがあったらとにかく書き出して自分の答えを見つけるようにしていたので、いろいろ考え、模索して新たな目標を見つけてなんとか気持ちを切り替えました。

結果、ハリウッドのテレビ局でのインターンシップに参加することで残りの学生生活や将来やりたいことに巡り合えたり、香港のサマースクールで世界中からの留学生と話すことで苦手だった英語のスピーキングにも自信を



香港サマースクールにて (原くんは 2 列目中央)

持てるようになりました。

具体的な夢や目標を持っている人の時間の使い方や行動力は素晴らしいと思います。そして、夢や目標を持たずにただ漫然と生きるということが、人生という限られた時間を無駄に過ごす馬鹿げたことだと気づきました。もし、夢や目標があるのに「自分はできない」「やり方がわからない」などと思い、躊躇し立ち止まっている人は、まずは一回じっくりと考えて自分ができる方法を見つけてください。それをすぐに挑戦、実行に移し、振り返りをしてみてください。実行、振り返りを繰り返すことで必ず自分に合った方法が見つかり目標達成に近づけると思います。そして、そこでもしも失敗したとしてもその失敗は必ずあなたの大切な力のひとつになると思います。(私も留学中の失敗がその後とても役立ちました。)何も考えずにただ失敗したのは自分のためになりませんが、自分で行動し失敗した場合はとても価値があると思います。

#### — 卒業後：妥協しない+仕事も楽しむ —

上記のことをテーマにし、留学帰国直前から就職活動を始めました。楽しくないことをこれから何十年も続けたくないのと飽き性なため、同じことではなく常に変化があることをやりたいという単純な理由です。興味のあった広告業界やインターンで以前に増して興味をもった映画の企画部を中心に応募していました。結局、壁にぶつかった時に参加した留学経験者限定の説明会で出会ったのが内定先の TMH です。社長登壇スピーチを聞き、直感で自分はここで働くのだなと感じました。その場で 2 次面接まで受け、運良く内定をいただくことができました。ここで働くとした理由は探せばたくさんあります。仕事/人生を楽しむという考え方、エンタメ企画にも携われる、その場に参加していた社員さんたちの雰囲気、やりたいことがやれる社風…など、挙げればきりがありません。

行動、振り返りを繰り返していたからこそ、最後は悩むことなく決められたと思います。就職活動は面倒臭い・大変だと思っている人は多いと思います。しかし、どうせなら就職活動を楽しもうと思ってしまえば、実際、楽しいです。色々な会社の人と知り合えたり、他大学の学生ともたくさん交流ができるため刺激的で、たくさんの挑戦・失敗も経験することができます。就活のために〇〇しなきゃ…という理由づくりをするよりは、自分のしたいことに全力で当たり、ありのままを見せる方がいいと思います。

#### — 4 年間を通して —

大阪学院大学での 4 年間でたくさんのことを経験することができました。そして、たくさんの失敗もしました。でも、失敗しながら、とても成長できたと思います。立派なことや凄いことをやったとは思っていません。自分一人では何もできませんでした。4 年間ゼミでお世話になった川本先生、LEI、国際センター、先輩、同期、後輩…とに



かくたくさんの方の支えがあったからこそやりたいことを 4 年間続けることがで

きました。学校の先輩方や教職員の方々、大人の人たちは、必ず成功できるという方法を教えることはできないかもしれないけれど、たくさんの失敗を経験しているからこそできるアドバイスをたくさん持っていると思います。皆さんには、自分自身が尊敬している人からとことん話を聞いたり、相談することで、自分の答えを見つけて、後悔しない学生生活を過ごしていただけたらと思います。

最後に、学生生活も人生も限られているからこそ、やりたいと思ったら言い訳を考えるのではなく、とにかくやれる方法を考え、すぐに実行に移

すしかないという点を繰り返したいと思います。適当に過ごすこの一瞬、一瞬は誰も取り戻すことはできません。だからこそ、やりたいならすぐに始め、続ける。一方、行動を始めたものの、自分がやりたいこととは違うなと思ったら切り替えて新しいことをするという見極め力も必要だと思います。

最後まで読んでいただきありがとうございました。もし、留学でも就活でももう少し話を聞きたい・相談したいと思った場合はいつでも力になりますので、先生や国際センターなどを通して連絡してください。

(ハラ カツノリ)

\*\*\*\*\*

## 努力で掴んだ「宅建」合格、 そして金融業界へ

森邊 美輪さん（2018 年 3 月外国語学部英語学科卒業。2018 年 4 月大和証券株式会社入社予定。）

大阪学院大学外国語学部に入學したのは、高校生のときに普通科総合選択制で国際などの勉強をしていたときに、大学で英語を身につけて外国の文化を知りたいと思ったからです。大学入学後、英語や他の言語なども勉強しましたが、大学 2 年次のときから将来について考えるようになりました。そして、元々英語を勉強したくて入学したものの、いざ本当に将来英語を使った仕事をしたい



ゼミで（森邊さんは前列左）

のか真剣に考えたとき、むしろ英語に固執せずに、英語を使う仕事以外のさまざまな業務も含

めてもっと広く自分のキャリアを捉えてみたいと思うようになりました。

そして、3 年次のときに家族が宅建士の資格を取得したことに刺激を受けて、私もエクステンションセンターの宅地建物取引士資格受験講座を利用して宅建士の資格取得をめざして勉強を始めました。最初は民法などの法律用語にほとんど馴染みがなく、正確な意味が分からない状態で悪戦苦闘しつつ勉強をしていましたが、少しずつ理解できるようになりました。とは言え、国家試験はそれほど甘くなく、その 3 年次生のときに受験した宅地建物取引士資格試験に合格することはできませんでした。とても悔しい思いをしましたが、それでも諦めずに、大学卒業までに必ず合格するということを心に誓い、4 年次生での合格をターゲットにして計画的に勉強を続けました。4 年次のときは宅建士の講座と授業だけでなく、宅建の勉強をしている他学部のゼミナールの授業にも出席させていただき、



集中的に勉強をしました。そのおかげで宅建士の国家試験に合格することができました。

そして宅建の知識を活かせる業界は不動産だけではなく、金融業界でもその知識が求められていることを知り、金融業界を中心に就職活動を始め、大和証券に出会い、内定をいただくことができました。さらに、証券会社のように、有価証券等の金融商品の営業活動を行うためには証券外務員 1 種と 2 種の試験にも合格することが必要となるということで、大和証券から内定をいただいたあと、今度はこの証券外務員試験の勉強を開始し、この試験も 1 種・2 種ともに合格することができました。

これらの私の経験から、学生の皆さんに伝えた

いことが 2 つあります。1 つ目は、自分が所属する学部に関係なく、自分が学びたいこと、興味あることは積極的に学ぶことができるし、学ぶべきだということです。私も最初は宅建の勉強を始めるときに外国語学部の学生だから無理ではないかというように、勉強をすることに不安と抵抗がありましたが、勉強をしているうちにどの学部にも所属していても、自分に興味があることを積極的に勉強することは間違っていない、良いことだと胸を張れるようになりました。自分が学ぶ分野を限定せず、学びたいものを学ぶという姿勢が大事だと思います。皆さんも大学でたくさんのことを思う存分学んでください。

2 つ目は、勉強していくなかで理解できないことに直面したときは積極的に先生に質問をしてください。私は宅建や証券外務員の勉強に取り組んでいる際、どうしても理解できない事柄に出合ったときは、先生に連絡を取り、勉強を教えていただきました。大阪学院大学は学部間の垣根がとても低く、他学部の授業のことで先生との連絡が取りやすい環境が整っていて、先生方が他学部の学生に対しても熱心に教えてくださいます。皆さんも積極的に先生と連絡を取り、コミュニケーションを深めてください。

最後に、皆さんもこれからたくさんを経験することになります。上手くいかないこともあるかもしれませんが、諦めずに少しずつ努力すれば目標を達成することはできます。頑張ってください。最後まで読んで頂きありがとうございます。

(モリベ ミワ)



## テニス部と交換留学の両立に 邁進した学生生活

濱中 里美さん (2018 年 3 月外国語学部英語学科卒業。在学中交換留学でオランダ フォンティス応用科学大学に半年間留学。体育会硬式庭球部で活躍。2018 年 4 月株式会社たけでん入社予定。)

こんにちは、2018 年 3 月外国語学部英語学科卒業の濱中里美です。私は大阪学院大学高等学校での 3 年間と大阪学院大学外国語学部での 4 年間の合わせて 7 年間にわたり「大阪学院」にお世話になりました。もともと、テニスをするために大阪学院大学高等学校へ入学し、テニス一筋の高校時代を過ごしていました。しかし、所属していた国際コースで海外研修を経験したことがきっかけで大学を決める頃には、「留学がしたい」という一つの願望が芽生えていました。そこで、「テニス」と「留学」の両方に本気で取り組める環境を探し、そのまま大阪学院大学外国語学部への入学を決めました。

大学生活では ①交換留学する、②テニスで結果を残す、という 2 つの目標を掲げていたので、まず交換留学に向けて 1 年次は、新しく導入された「LEI プログラム」で徹底的に語学力の向上に取り組みました。「LEI プログラム」とは、授業の一環として受講できるコースで、語学力向上を目指して海外同様の授業を行い、留学準備が出来るコースです。私はそこで 1 年間語学勉強に励み TOEIC のスコアを上げて、交換留学の資格を得ることが出来ました。このコー



LEI ディレクター (当時) の  
ミンナ先生と

スに所属した学生たちと切磋琢磨しながら、英語しか話せないフィンランド人、アメリカ人の先生方の授業を受講し、listening、speaking、reading、writing の全てを鍛えることができました。

そして私は、2 年次の夏から半年間、オランダのフォンティス応用科学大学に交換留学しました。期待や不安、様々な思いを胸に向かった留学先オランダではいい意味でも悪い意味でもここには書ききれないほどさまざまな経験をさせていただきました。実際に海外で留学生と共同生活をし、い



濱中さんは 2 列目左端

ろいろんな場面に会ったからこそ、改めて日本の素晴らしさに気づくことが多かったです。

交換留学を終え帰国した私は就職活動を徐々に始めつつ、2 つ目の目標に向けて、部活動に全力で取り組みました。コーチも部員も 1 年以上休部していた私を温かく迎え入れてくれたことにとっても感謝しています。そして時にはぶつかり、時には助け合い、高校時代から 7 年間共にテニスに奮闘し、励まし競い合って互いに向上してきたチームメイトの存在は私にとって本当に大きかったです。体育会硬式テニス部に所属していたので、他の部員から技術面、体力面の遅れを取り戻すのはとても大変でしたが、少しずつ力を取り戻し、最



後にはダブルスで“優勝”という結果も残すことが出来ました。また、部活動や試合に出場しながら就職活動に励むという多忙な時期もありましたが、これも共に同じ環境で頑張っているチームメイトがいたからこそ、頑張ることが出来たのだと思います。

濱中 4 年次の最後には、テニス部の同期学生を含め学部を越えた 19 人でキャリアチューターとして、後輩の大学 3 年次生の相談に対応したり、自分の就活体験を伝えたりすることで、後輩学生の就職活動をサポートする活動を務め上げることが出来ました。初めは、私に何が出来るのだろうかと不安だらけでしたが、1 年前の私と同じ局面に立っている就活生の少しでも役に立てるよう 19 人で協力し、取り組んだキャリアチューターは短期間でしたが、やりがいがあり、学生生活を締め括る思い出になりました。



キャリアチューターの仲間たちと  
(濱中さんは最前列左端)

私の大学生活は多くの出会いがあり、充実した時間を過ごすことができ、大阪学院大学に感謝でいっぱいです。目標を明確に持ち、取り組むことが出来たのも一理ありますが、それ以上に沢山の方々にサポートしていただき、充実したもののできたのだと思います。

これからは社会人として自覚を持ち、様々な出会いを大切にどんどん新しいことに挑戦していきたいと思います。

(ハマナカ リミ)



## 海外研修と交換留学で得たもの

菅田 智さん(2018年3月外国語学部英語学科卒業。在学中交換留学でオランダ フォンティス応用科学大学に半年間留学。2018年4月株式会社エヌエスシイ入社予定。)

私が4月から勤務する予定の会社は株式会社エヌエスシイという主に自動車部品を製造している企業です。エヌエスシイに決めた理由は中国とタイに工場を持っているので、いずれは海外で働く可能性があること、自社で金型も製造していること、そして自動車業界であることから、次世代自動車(電気自動車、水素自動車など)の部品や新たな分野の部品の製造にも挑戦できるからです。大学では自動車の様な工学系の分野を学ぶ機会はありませんでしたが、留学をすることで視野が広がり、どの業界が最も海外と関わることが多いのか、世界の多くの国において現在基幹となっている産業は何か、さらに多くの国において成長が見込まれる産業は何かなどを念頭に業界研究をし、自動車産業と食品業界が該当産業として浮かび、結果として自動車業界に身を置くこととなりました。

私は教職課程を取っていたので、2年次の夏までは外国語学部と教職課程の授業、アルバイト、遊びを繰り返すような日々を過ごしていました。後期から交換留学の出願準備をしている時に、今まで旅行でも海外に行ったことがないのに、いき



なり1学期間の留学生活ができるのか不安になり、交換留学派遣の

前に春期海外研修のカナダ研修に申し込むことに決めました。一緒に行ったメンバーの大半が後輩で、最初は馴染むのに時間がかかりましたが、馴染んでからは楽しいことばかりで良い思い出がありません。ホームステイ先は東南アジア系の家族の家で、部屋が地下にあり、家族は上の階で生活していて話す機会は少なかったのですが、おばあちゃんはいつも地下のリビングに居て、毎日帰ってからその日の出来事を話しました。会話の途中で英語でどのように表現したらよいかわからなくなり、つまづくことが多々ありましたが、おばあちゃんはいつも真剣に聞いてくれたので感謝の気持ちでいっぱいでした。

滞在中は SELC という語学学校に通いました。授業の内容は易しく完全に理解できていましたが、いざ自分の考えを英語で話そうとすると適切な英語表現が咄嗟に頭に浮かばず苦労しました。自分の弱点を見つけることが出来たという点ではとても有意義な研修となりました。また、滞在中誰かと一緒に行動することが多かったのですが、一人で行動することも必要だと思い、思い付くがまま出かけることもありました。この機会を通じて人と



の出会い、自分から行動することの重要性に気づき、交換留学でオランダに行くまでにすべきことを見つけました。

カナダから帰国してから半年も経たないうちに交換留学でオランダに発ちました。オランダでは2人の中国人の女性とルームシェアをしていました。彼女たちと打ち解けるのに多少の時間がかかりましたが、彼女たちが中国



の料理を作ってくれたり、私が日本食を振る舞う機会が度々あり、さらに、彼女たちが友人を呼んで一緒にご飯を食べる機会もあり、彼女たちのお陰で友人の輪が広がり、人との出会いの重要性を再認識しました。オランダからヨーロッパ圏の他の国に行くのはとても容易（大阪から東京に行くような感覚）で、留学中に 7 か国に行きました。

学校の歴史の授業で学んだ名所旧跡やテレビで紹介



されたことがある歴史的建造物や絶景を自分の眼で見ると、どこも圧倒されるほど素晴らしく、実際に行かなければ味わうことの出来ない感動を何度も覚えました。

私の大学生生活の経験から皆さんに伝えたいことがあります。それは、留学をしたいなら日本のことも勉強しておくべきであるということです。私はカナダとオランダに行き、そこで様々な人と話す機会があり、その人の国について質問をして多くのことを知ることが出来ました。しかし、日本のことについて聞かれると、意外と答えるのに苦労した質問がいくつかあり、海外に興味を持つのは良いけれども、その前に母国である日本についても知っておくべきであることに気付きました。これを読まれた皆さんは私の二の舞を踏まないように、普段から日本のことも勉強し、それを英語で話す練習をすれば、語学力が向上するだけでなく外国人との会話が一層弾むと思います。そして、これから国際化が益々進むにつれて英語を話せるのが当たり前の時代になると思うので、時代の波に乗り遅れないように今から備えて欲しいです。

(ホンダ サトシ)



## バンド活動、国際交流 —人との出会いが宝物の 4 年間—

嶋村 利菜さん（2018 年 3 月外国語学部英語学科卒業。2018 年 4 月ホシザキ京阪株式会社入社予定。）

2018 年 4 月から、ホシザキ京阪株式会社で働くことになりました。ホシザキグループは業務用の冷蔵庫や製氷機等の製造、販売において国内シェア第 1 位の会社です。ペンギンマークが特徴だと言ったらわかりやすいかもしれませんね。

私がホシザキ京阪に就職を決めた理由は、女性がとても働きやすい会社と聞いたからです。今は社会での女性の活躍が増えてきていますが、まだまだ女性よりも男性の数が多く占めている会社がとても多いです。その中でホシザキ京阪は、次世代育成支援対策推進法に基づき、一定の基準を満たした「子育てサポート企業」として、厚生労働大臣から「くるみんマーク」が授与され、更に女性が働きやすい職場環境整備に関して高い水準の取組を行っている企業をに対して授与される「プラチナくるみん」の認定まで受けています。私も女性として家族を持ちたいという願望を持つと同時に、継続的に働いていきたいという気持ちがあるので、その 2 つを充実させてくれる会社だと思い入社を希望しました。



プラチナ  
くるみんマーク

就職活動中は毎日休むことなくいろいろな会社へと足を運びました。どのようにすれば一番自分が輝いて見えるのか、どのように話をすれば自分の思いを伝えることができるのか、自分に興味を持ってもらうためにはどうすればよいのかなど、いろいろなことを毎日考えました。その考えでい

っぱいっぱいになって泣いてしまう日もありましたが、就職活動を無事に終えることが出来たのは、この 4 年間で私を成長させ変えてくれたからだと思います。



大阪学院大学の外国語学部へ入学した当初は、英語を学び、留学をしたいと考え勉強していました。一方で、私はその時、高校からずっと音楽が好きで、大学へ入ってもずっと無我夢中でバンド活動をしていました。留学

したいという気持ちもありましたが、日本に残って音楽をしたいという気持ちが強く、日本で英語を学びつつバンド活動をしようと思い、留学には行きませんでした。外国語学部へ入って、英語が全てか、勉強が全てかと問われるなら、私はそうではないと答えます。私は大学と外国語と音楽を通して、様々な経験を通して人に出会いました。音楽をやっていたことにより、海外からの留学生達とバンドを組めたり、言葉では通じない気持ちを音楽を通して共感することが出来ました。外国語学部の学生で言語について学ぶ立場にありなが



ら、こんなことを思うのは不謹慎かもしれませんが、言葉などなくても音楽を通じて気持ちを交わすことができるということを感じ、その時、勉学以外に音楽に携わっていて本当に良かったと思うことが出来ました。

大学は勉強だけをやる場所ではありません。それ以外のことを自分で判断し、高めることのできる場所だと思います。そして、何より年齢も国

籍も様々な沢山の人々と交流することができるので、自分の中で多様な考え方がうまれます。それを如何に自分のものにするかによって、今後の就職活動や学生生活に役に立ってくるのではないのでしょうか。大阪学院大学へ入学した私が、音楽や就職活動や勉強で学んだことを通して、今記事を読んでいる皆さんに伝えたいことは、大学では沢山の人々と出会い、いろいろな経験をして欲しいということです。自分自身の意思で行動できる 4 年間は、自分で生かすことも殺すこともできる 4 年間でもあります。アルバイト、趣味、遊び、勉学、部活、サークル、ボランティア活動など、本当に何でもいいです。私の場合は、大学の行事に自ら興味を持って進んで参加していました。例えば、オープンキャンパス・スタッフ、海外からの留学生との交流、後輩の就職活動を応援するキャリアチューターなど、今その時にしか出来ない経験をしたかったので、何でも興味を持ちました。それをすることによって、自分にはこれは向いている、これは向いていないということもわかりますし、いろいろな人とも関わる事が出来て、さまざまな経験も得ることが出来ます。やってもやらなくてもいいことを率先して自分からやることは、時に周りから不思議がられることもありましたが、その疑問はすごく勿体のないことだと思います。自分を高めることのできる機会があるのなら、どんどんそれを吸収していくべきです。絶対その経験は、就職活動や将来自分を輝かせる武器になります。この 4 年間で、自分を誰よりも輝かせる最高の武器を手に入れてください。

(シマムラ リナ)

ニューズレター 第 12 号

発行 2018 年 3 月 20 日

発行者 大阪学院大学外国語学部

発行者住所 〒564-8511 大阪府吹田市岸部南二丁目 36-1

(電話) 06 (6381) 8434

(学部 URL) [http://www.osaka-gu.ac.jp/dhp/gaikokugo\\_gakubu/](http://www.osaka-gu.ac.jp/dhp/gaikokugo_gakubu/)